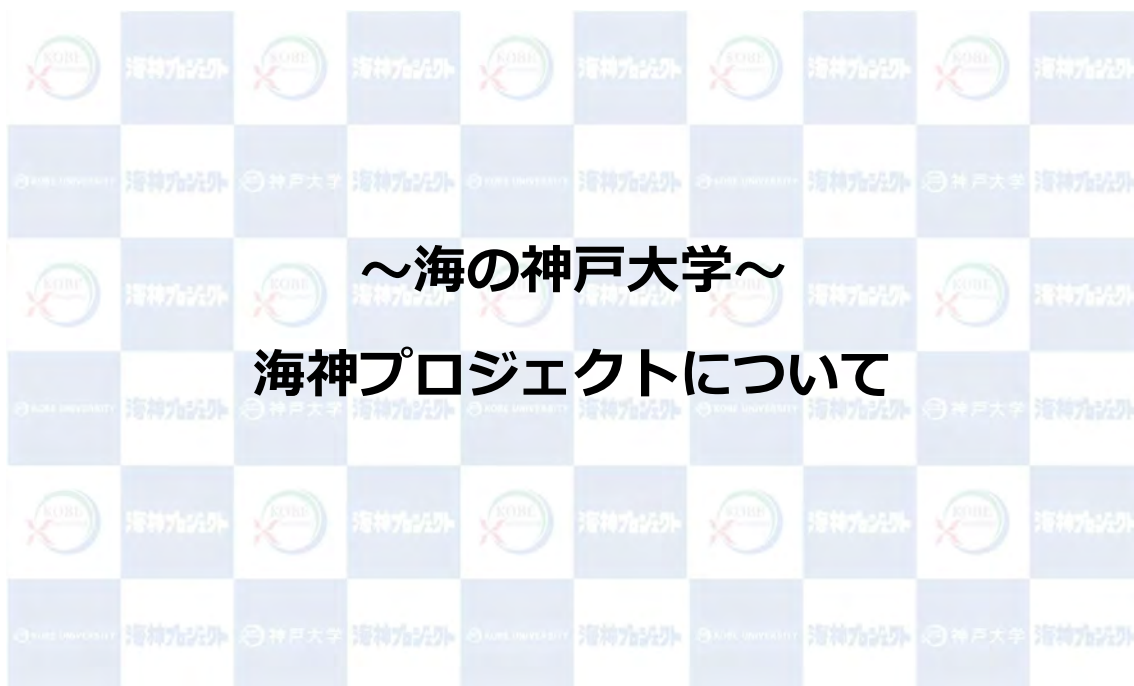


2019年11月22日



～海の神戸大学～
海神プロジェクトについて



● 「海神プロジェクト」の背景と概要

「海神プロジェクト」は、「海の神戸大学」のブランディングを担います。

神戸大学では、「学理と実際の調和」を理念とした世界最高水準の教育研究拠点の形成を目指して、2015年に「神戸大学ビジョン2015」を策定いたしました。このビジョンの実現には、神戸大学が持つ「強み」を生かして、それをさらに発展させねばなりません。神戸大学は2003年に神戸商船大学と統合し、国内では数少ない「練習船を保有する総合大学」となりました。この練習船を用いて、船員養成のみならず、先端的な海域研究や多くの方々の「海」への関心を高める活動を展開することが、神戸大学のミッションであると考えます。

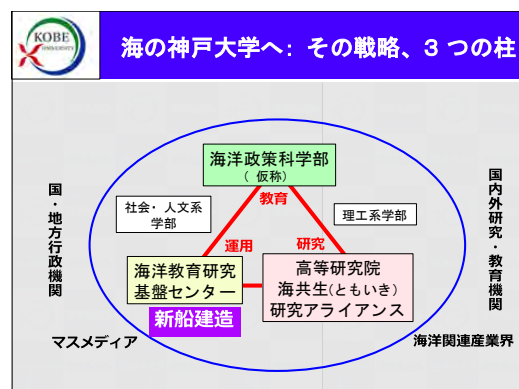


また、神戸大学は「国際港湾都市神戸」に立地します。「海に開かれた街、神戸」と共に海を拓いてゆくことが神戸大学の責任です。

このような背景の下、神戸大学では「海」に関する研究を推進し、「海洋立国」をリードする人材の育成を重点的に進めます。これらの取り組みによって、我が国にとって喫緊の課題である国際海洋社会におけるプレゼンスの向上に貢献することが、神戸大学の使命であると考えます。

「海の神戸大学」を目指す上で、教育・研究・運用の3つの柱を設定します。1つは、海洋政策科学部（仮称）を設置して、海に関する国際的課題の解決をリードする「海のグローバルリーダー」、持続的な海の開発・利用と探査をリードする「海のエキスパート」、国際物流を支える外航船舶職員及び海運業界の経営にも携わる「神大海技士」の育成を進めます。

2つ目は、海の神戸大学における研究の顔として高等研究院「海共生（ともいき）研究アライアンス」を設置しました。このアライアンスは、海域先端研究の推進に加えて、海洋由来災害の軽減や海洋政策に関するシンクタンク機能も有します。3番目の柱は、全学及び国内外に開かれた効率的な練習船の運用をミッションとする全学組織「海洋教育研究基盤センター」の



設置です。さらに、昨年度には「新造船」の建造経費が認められ、この千載一遇のチャンス
を「海の神戸大学」への大きなステップとしたいと思います。

このような「海神プロジェクト」の水先案内人として、手塚治虫氏による「海のトリトン」
を起用しました。海で自分探しの旅を続ける中で、現代にも通じる地球的課題とも遭遇して
成長してゆくトリトン。このトリトンと共に神戸大学は海へ乗り出し、みなさまと一緒に
「海洋立国日本」の将来を考えてゆきたいと思っています。

「海神プロジェクト」では、今後も様々な活動を行います。これからも「海の神戸大学」
に対する応援をよろしくお願いいたします。

「海に開かれ、海を拓く」「海の神戸大学」、いざ出航です！

● 海洋政策学部（仮称）について

海洋政策科学部は、海惑星「地球」と生命の共進化、海洋の持続可能な開発・利用、海
洋政策など、海と人間の共生に向けた基本概念をベースに、国際海洋社会をリードする
「海のグローバルリーダー」、海洋探査・開発・利用などを牽引する「海のエキスパー
ト」、船長・機関長のみならず経営にも携わる「神大海技士」の育成を図ります。

海洋政策科学部には、以下のような大きな特徴があります。

① 2類型入学者選抜

海洋に関する自然探求、海洋科学技
術、海洋ガバナンス、海上輸送などに
関する諸課題に意欲的に取り組む有能
な人材を広範から求めるため、2類型
の入学者選抜（文系科目重視型及び理
系科目重視型）を導入します。

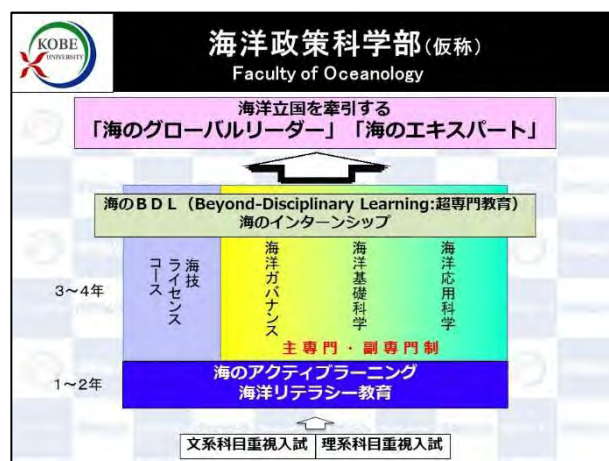
② 海洋リテラシー教育

太陽系で唯一地球に存在する「海」。

地球システムの進化における海の役割、持続可能な海洋開発・利用、国際海洋社会
における課題など、海洋立国をリードするために必要不可欠なコンテンツを、全学
部生が「海洋リテラシー」として身につけることができますようにします。なおこれ
らの一部は、「海の神戸大学」として、全学学生に対しても提供します。

③ 海のアクティブラーニング

附属練習船深江丸を活用して、海洋政策科学に係る社会科学から理工学に渡る幅広
いテーマを船上・海上で能動的に学ぶことによって、異なる視点の認知と思考、実



機による判断力の養成及び船の特殊環境における作業を通じた「主体性・多様性・協働性」の育成を図ります。

④ 主専門・副専門制

複雑化する海洋に関する国際的課題の解決を図るには、その課題がもつ多様な側面の包括的理解が必要不可欠です。2年時までに身につけた「海洋リテラシー」をさらに深化させて課題解決能力を高めるために、主専門として学ぶ科目群と副専門として学ぶ科目群を自由に選択する「主専門・副専門制」を導入します。

⑤ 海のB D L (Beyond-Disciplinary Learning)

主に学ぶ領域（主専門領域）が異なる学生でグループを作り、専門の枠を超えた海洋政策科学分野における課題の抽出と解決策の検討を通して、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性・多様性・協働性」の重要性を学び、社会倫理や技術倫理を含めた教養、知識、経験に基づく汎用的能力とリーダーシップの育成を図ります。

⑥ 海のインターンシップ

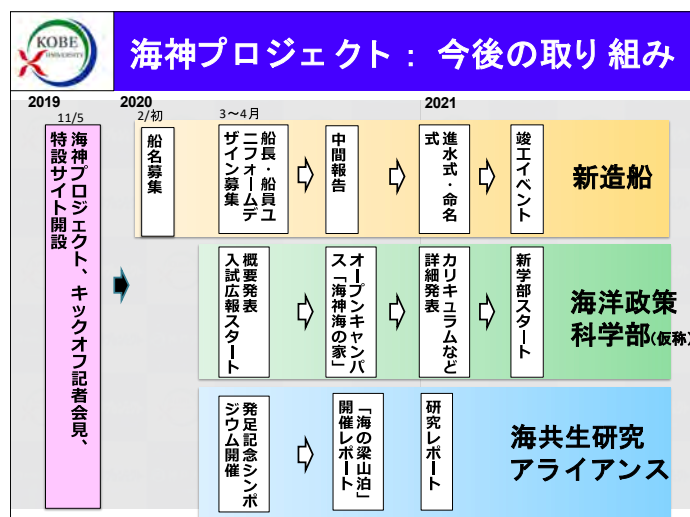
海洋政策科学分野に係るグローバルな企業や国内外の行政・研究機関等における研修・実習・就業体験を通して実社会を学び、実践力を涵養します。

学部	学科	コース／領域*	概要
海洋政策科学部 (200)	海洋政策科学科	海洋ガバナンス	海事・海洋分野における科学技術を理解するとともに、様々なモノ（人、物資、金融など）の流れ、国際ルール、地政、経済、経営、政策、戦略など海洋社会に資する社会科学分野の専門知識を修得することで、人類と海・船の歴史を踏まえ、将来の海洋の平和利用に貢献し、政策立案に寄与する能力を身に付けます。
		海洋基礎科学	海洋に係る国際的課題や海洋政策を理解するとともに、海洋の成り立ちや、海洋を含む地球システムの物質循環、海洋及び地球環境問題や自然災害、海洋探査技術や海底資源、海洋再生可能エネルギーの開発に関する専門知識を修得することで、持続可能な海洋との共生に資する基盤技術や応用科学及び技術の発展に貢献する能力を身に付けます。
		海洋応用科学	海洋に係る国際的課題や海洋政策を理解するとともに、船舶や海洋構造物、海底掘削技術など、将来の海洋技術開発に資するマリンエンジニアリングの専門知識を修得することで、海洋の有効活用を推進し、海洋の利用と開発に資する基盤技術や応用技術の創造と発展に貢献する能力を身に付けます。
		海技ライセンスコース (～90)	船の運航技術と管理に留まらず、海洋政策科学分野の幅広い知識を学び、海技士（航海・機関）としての専門知識と技術を修得することで、海事・海洋社会に関する高い見識を備え、政策立案に寄与できる海のグローバルリーダー及び海のエキスパート（神大海技士）となる能力を身に付けます。

* 三級海技士免許の取得希望者については、指定科目が多いため、「コース」とします。それ以外は、主専攻領域と副専攻領域を自由に選択します。

研究アライアンス」の設置です。このネットワーク型研究拠点を構成する研究ユニットでは、学内研究者に加えて、客員研究員として産官学にも広く人材を求めて連携研究を進めてゆきます。その狙いは、最先端の科学技術開発のみならず、世界一の地震大国・火山大国に暮らしてきた日本人の災害観の再構築や、我が国の海洋に係る国際的課題の解決に向けたプレゼンスの向上を図る政策提言なども含まれます。また、「神戸海洋梁山泊」研鑽会を定期的に開催し、このような「脱専門的」な取り組みが必要な課題の抽出を行なってゆきたいと考えています。

● 「海神プロジェクト」の今後の取り組み



● 「海のトリトン」について

- 「海のトリトン」とは

「海のトリトン」は人間に育てられた、トリトン族の末裔トリトンが、海を舞台に数々の試練や闘いを乗り越え成長していく「成長物語」です。原作では随所に、手塚治虫氏らしい文明批評や環境問題への視点が盛り込まれており、現代にも十分通じる作品となっています。

- ストーリー

“人魚族の最後の生き残りである少年トリトンが、海の支配者ポセイドン一族と闘う海洋冒険 SF マンガです。トリトンは、海の支配者であるポセイドン一族に、皆殺しにされた人魚族の最後の生き残りでした。人間に育てられたトリトンは、やがて海へ帰り、イルカのルカーたちに助けられながら成長して、もうひとりだけ生き残っていた人魚のピピ子と出会います。やがてふたりは結婚し、7人の子どもが生まれました。

しかしトリトンは、ポセイドンのワナにはめられ、人間の敵に仕立てられてしまいました。トリトンは立ち上がり、ついにポセイドンとの決戦を決意するのです。”

※引用元：手塚治虫 オフィシャルサイト

- 連載

1969/09/01-1971/12/31 「サンケイ新聞」 連載

“この作品は大長編ですが、日刊新聞に1日1ページという形式で2年以上にわたって連載されました。物語の始まりは、赤ん坊だったトリトンを拾った人間の少年・和也が主人公でしたが、和也はすぐに物語の主流から外れ、トリトンが主人公となっています。連載時のタイトルは「青いトリトン」でしたが、テレビアニメ化のときに『海のトリトン』に改められました。”

※引用元：手塚治虫 オフィシャルサイト

- 海神プロジェクトに関するオフィシャル情報サイト

- 特設サイト：<http://www.org.kobe-u.ac.jp/kaijin-pj/>
- YouTube：<https://www.youtube.com/watch?v=b5q0QGnMSF0>
- ツイッター：<https://twitter.com/KaijinPJ?lang=ja>
- ファイスブック：<https://www.facebook.com/kaijin.pr.kobe.u/>

本資料中の「海のトリトン」に関する画像は、神戸大学総務部広報課までメールで連絡いただければ、データ取得方法をお知らせします。

【本件に関するお問い合わせ先】

- 神戸大学総務部広報課

電話：078-803-5083

E-mail：ppr-kouhoushitsu@office.kobe-u.ac.jp